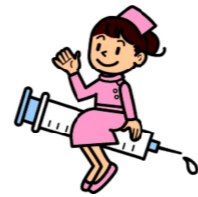


# どっちのナースショー 働くならどっち?!



## 糖尿病看護



### ①業務

患者さんの生活習慣を詳細に聞き取り、問題点を抽出する。その問題点を解決する事により、血糖コントロールの改善をはかる事を目的に、平成20年4月より糖尿病外来を開始。毎週月曜日13時から予約制で3~4名の患者に対して、医師、看護師、栄養師、薬剤師、理学療法士がチームで関わり専門性を生かした指導を行っています。

### ②部署の魅力

あき総合病院では中核病院として、地域の課題となっている糖尿病患者の重症化予防や良好な血糖コントロール、継続した治療を行うために、平成22年9月より糖尿病地域連携パスを導入しました。当院とかかりつけ医との連携により、治療・指導を受けられた患者さん全ての方に改善が見られ、継続した治療が行われています。

### ③ある一日の流れ

1. 患者さんが来院したら、血液検査等を実施し2階多目的棟 栄養相談室へ移動。
2. 看護師による問診を行い、問題点の抽出。生活指導、フットチェックの実施。
3. 医師による診察。
4. 問題点から個々の患者様にあった栄養指導、薬剤師、運動療法の実施。



## 救急看護



### ①業務内容

☆「救急トリアージナース」  
救急隊から患者さんの救急収容要請をうけて、医師や各部署に連絡調整をしています。救急車で来院された患者さんの看護をさせていただきます。  
☆「MET(Medical Emergency Team)」  
院内外の緊急度・重症度の高い患者さんに対してチームで救急活動を行います。

### ②部署の魅力

救急はいつ・どんな状態の患者さんが来院されるか予想がつかない部署です。患者さん自身もご家族も不安な気持ちで来院されます。  
そんな「いざという時」に東部地域のみなさんが安心して、その患者さんにとって一番良い治療を受けていただくことができるよう、日頃より研鑽し、活動していきたいと思えます。

\*トリアージとは: 災害医療において最善の救命効果を得るために、多数の傷病者を重症度と緊急性によって分別し、治療の優先順位を決定すること。救急外来での優先度決定も含まれる。

### ③ある一日の流れ

- 8:30 救急室の点検 内科外来で注射等の業務
- 8:45 消防より救急収容依頼① 連絡・調整(医師・該当科看護師・医事課) 収容準備
- 9:04 救急車到着 患者対応...検査、点滴して該当科へ
- 10:10 消防より救急収容依頼② 連絡・調整 収容準備
- 10:32 救急車到着 患者対応...検査、点滴して該当科へ
- 10:58 消防より救急収容依頼③ 連絡・調整 収容準備
- 11:14 救急車到着 患者対応...検査、点滴して該当科へ
- 12:30 昼食
- 15:01 消防より救急収容依頼④ 連絡・調整 収容準備
- 15:19 救急車到着 患者対応...検査して病棟へ入院
- 16:45 消防より救急収容依頼⑤ 連絡・調整 収容準備
- 17:20 救急車到着 患者対応...検査、処理、点滴など
- 20:30 家路へ



# ザ・対談

西田 看護部長(総括) × 平瀬 看護部長

二人の看護部長があき総合病院の看護の魅力について語り合う。



### (統合して)あき総合病院となった

**西田** 統合してもう7ヶ月になりましたが、どのような感想をお持ちですか?

**平瀬** 一言でいうとパワーアップしたと思います。精神科と身体科が一つになることでそれぞれの専門性がより発揮できる環境が整いました。

**西田** 私も精神科のある総合病院となって、身体合併症等について医師同士や看護師同士の連携が深まり、患者さんにとっても大きなメリットになっていると思います。

**平瀬** 当院の理念である「安芸地域とともに歩み、人々の心と体の健康を支えていきます」を基に、私たちは急性期医療から在宅への連携といった、地域の人に必要とされる看護が求められていると思っています。

**西田** そうですね。東部地域の中核病院として、地域の人に頼りにされる病院ということが統合する中でさらに強まりました。赤ちゃんから高齢者まで幅広くみて、頼られる病院ということでは役割が大いだと思います。患者さんだけでなく、家族も支えるという視点もこれからは重要になっていきます。

### あき総合病院の看護の魅力と特徴

**西田** 平瀬看護部長は、安芸病院を経て、大学の教員を経験し、それから再度安芸に来られたのですが、この病院の魅力をどのように感じますか?

**平瀬** そうですね。「生活の場へ深く看護の実践が魅力だ」と思いますが。あき総合病院は、地域に密着した生活の場に近い病院というところが特徴です。当院を利用される患者さんは高度急性期病院から一旦当院に入院され生活にも慣れる場合や、直接入院されてそれぞれ住まれている地域に帰られる場合もあります。高齢者の方が病気をもちながら地域で暮らすということは、地域で医療や生活を支えている様々な職種と密に繋がりが、そこに暮らす生活の視点での看護が展開できなければなりません。難しいけれどやりがいがあると思っています。

**平瀬** 西田看護部長は長年精神科に携わってこられて、その中でやりがいを感じる「とほほのふっふっ」とですか?

**西田** 退院する患者さんが入院してよかったですと思っていただけるところが、また調子が悪くなったときにいつでもこの病院に来たいと思うことを一番大事にしてきました。それと、患者さん、患者さんの家族と信頼関係を築くことを大事にしてきました。だから今現場と離れていても、会った時は患者さんから声をかけていただくことが私の嬉しいところでもあります。そこにやりがいがあったところだと思っています。

**平瀬** 私たちの病院と地域の患者さんとは、一期一会を大切に、一生を通じてお付き合いへと繋がっています。お互いが成長しながら同じ時間を共有していくところに、積み重なっていく信頼関係があり、やりがいを感じます。

### 今後のあき総合病院の看護について考えていること

**西田** 今後のどのような看護師を育てたいと思いますか?

**平瀬** 今後看護部に求められる力は、専門性の高い看護の実践と、患者さんをトータルで見る力の育成の2つが挙げられます。現在、がん専門看護師をはじめ、7領域の認定看護師が活躍しています。また、自己研鑽によって、認知症療養指導士、糖尿病療養指導士等の資格を活かした活動や、救急においては、計画的な取り組みによって、約80%の職員がCCSの資格を取得しています。今後も、地域のニーズに応じて、必要な専門性を高めることのできる看護師を育てていきたいと思っています。

また、患者さんが高齢であったり、生活背景とかが厳しい状況の中、心と体、それから家族を含んだ生活、この3つについて専門性を持った目で看れる、そして自分の行った看護に責任をもって地域へつないでいける力、そういう実践能力を培っていかたいと思います。

**西田** そうですね、柔軟性のある看護師、その場その場に応じた状況判断ができる看護師、どこでもどのような環境でも仕事ができる総合力が発揮できるシネナリストの力は重要ですね。

**平瀬** あき総合病院の看護師はベテランの人が多く、今まで積み重ねてきた物が豊かなので、それが発揮できる環境を整えたいと思います。

平瀬節子  
看護部長



西田初美  
看護部長(総括)